

2010年2月4日

ランクセス、上場5周年の歩み

～ 2005年1月31日フランクフルト証券取引所に上場から5年 ～

ランクセス株式会社

2010年2月1日、特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、フランクフルト証券取引所上場から5周年を迎えました。上場した2005年1月31日のランクセス株の初値は1株あたり15.75ユーロでしたが、5年後の2010年2月1日の始値は、27.42ユーロでした。

ノルトライン・ヴェストファーレン州を拠点とするドイツ最大の上場特殊化学品メーカーであるランクセスは、設立から短期間で急速な成長を遂げ、上場から5周年を機にさらに新たな一步を踏み出します。ランクセスのCEOであるアクセル・ハイトマンは、この記念すべき日にあたり次のように述べています。「私達は、設立当初、不利な条件下で事業をスタートし、数々の困難な局面を乗り越えなければなりませんでしたが、従業員全員の献身的なコミットメントと団結により、化学業界で確固とした地位を築くことができました。ランクセスは、革新的な製品によって同分野で引き続き世界的な主導的役割を担い、市場での地位をさらに強固なものとしていきます」

ドイツの化学産業地域中心部、レバクーゼンに位置するランクセスグループ本社では、ランクセスの独立と上場を象徴する記念モチーフが描かれた大きさ約1,000m²の新しいランクセスのポスターが掲示されました。

設立から短期間で急速な成長

2005年2月28日にランクセスがドイツのケルンで商業登記されて以来、ランクセスは国際市場での持続的な競争力を迅速に得るため、様々な対策を講じてきました。過去の主な出来事は、次のURLを参照して下さい。(英語:<http://corporate.lanxess.com/about-lanxess/history>)

組織の最適化

グローバル市場で成功したランクセスの成長戦略は、組織の最適化と平行して進められました。設立当初、ランクセスは4部門17ビジネスユニット体制でしたが、現在では3部門13ビジネスユニット体制に編成され、収益力は主要競合他社と同レベルまで向上しました。ランクセスは、合計約15億ユーロの事業を売却し、この事業再編と同時に、新しい財務制度と管理システムを導入しました。この再編についてハイトマンは、「これらの取り組みにより、世界規模の経済危機を乗り越え、さらに経営基盤の強化につながりました」と、述べています。

買収による企業価値の創出

組織再編が成功裡に完了したのに続き、ランクセスは成長に照準を合わせた戦略を展開しました。ランクセスは事業拡大のため、組織的に BRICs 諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国)の基盤強化に取り組みました。中国では 2006 年に開始した「LANXESS goes Asia」プロジェクトを通じ、買収、既存製造拠点の拡充、合併会社の設立、複数の研究提携を推進しました。ブラジルでは 2007 年に中南米有数の合成ゴムメーカーであるペトロフレックス社を買収しました。インドでは 2009 年にグワリオール社の化学事業および資産を買収し事業強化を図りました。ロシアにおいても 2009 年、ランクセスの独立販売会社を設立しました。ハイトマンは、BRICs での事業強化について「BRICs 諸国における成長戦略は、この経済危機下において初めて試練に直面しましたが、ランクセスは乗り切ることができました。今では、アジア、特に中国は、当社にとって経済成長の原動力となっています」と、コメントしています。

革新的な製品ポートフォリオ

過去 5 年間でランクセスは、製品ポートフォリオは、新たなアプリケーションの登場や、業務提携に牽引され最適化されました。ランクセスが社内で開催している「イノベーション・デイ」で昨年公表したように、今後もランクセスは高品質で技術主導の製品やプロセス、また、景気変動の影響を受けにくい分野に注力していきます。この方針のもと、現在 100 の開発プロジェクトが進行中です。

2009年9月、ランクセスは「世界ゴムの日」を定め、イベントを開催しました。科学シンポジウムもあわせて開かれ、ランクセスの革新的な製品ポートフォリオの可能性を紹介し、このイベントによりランクセスの世界有数の合成ゴムメーカーとしての地位はさらに強固なものとなりました。最近では、設立以来最大規模となる約4億ユーロを投資するシンガポールの新ブチルゴム製造拠点建設計画を前倒しして再開することや、ドイツのビターフェルド製造拠点において最先端の水処理膜製造プラントを建設することを発表しました。

収益力の強化

過去5年間の成果は、ランクセスの主要経営指標の推移にも反映されています。2004年に6.6%だった特別項目調整前EBITDAマージンは、2008年には11.0%に増加し、競合他社の平均収益との差を縮めるという目標を達成しました。2009年は、ランクセスは2008年の厳しい経済環境下であったにもかかわらず優れた業績を達成したことを評価され、世界的に著名な化学専門誌ICISの「カンパニー・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞しました。

持続可能なソリューション

ランクセスは、持続可能なソリューションに注力し、世界各地で環境に配慮した技術とプロセスに投資しています。この取り組みが評価され多数の賞も受賞しています。フランスのポートジェローム製造拠点の新しい排ガス処理設備は、2009年に「企業と環境賞」を受賞しました。審査団は同拠点の蓄熱式脱臭装置(RTO)を、環境に優しい模範的なプロセスであると評価しました。2009年

末には、ランクセスは逆浸透技術を基にした住宅用廃水処理プラントが審査員に高く評価され、インドで水資源管理に関する賞を受賞しました。

ランクセスのクレフェルト・ユルディンゲン製造拠点の新しい亜酸化窒素削減施設（別称:LARA）は、ドイツのホルスト・ケーラー大統領が後援する「発想の国ドイツ - 365のアイデアコンテスト」において、2,200以上もの応募の中から受賞企業・組織の1社として選ばれました。LARAによりランクセスは、ドイツにおける温室効果ガス排出を2012年までに約80%（2007年度比）削減できます。さらに、ブラジルのポルト・フェリス製造拠点でコージェネレーション（熱電併給）設備を2010年春に稼働予定で、この設備は、サトウキビ成分であるバガスを燃料として同拠点全体に蒸気と電気を併給します。

企業としての社会的責任

ランクセスでは、若い人々に早い時期から科学に興味を持ってもらえるようにとの願いから、熱心に活動をしています。2008年から開始された教育プログラムには、この2年間で約150万ユーロを支出しています。このプログラムは、地元レバークーゼンにある高校の自然科学の教育や研究施設の長期的な改善を支援するもので、ランクセスは、主催する様々な実践的イベントを通して、自然科学を支援していきます。

2009年12月には、ランクセスがケルン国際文学フェスティバル（lit.COLOGNE）のスポンサーとなったことを発表しました。これは、知識の継承と科学学習を奨励する新しい取り組みとなります。ランクセスは、これらのほかにも地域社会に貢献する活動に積極的に取り組んでおり、「欧州最大の文学フェスティバルへの参加、グループ本社のケルンへの移転、そしてランクセスアリーナのスポンサーとなったことは、ランクセスの発祥地であるノルトライン・ヴェストファーレン州へのコミットメントを示すものです」と、ハイトマンも述べています。

#

このリリースは、ドイツ・レバークーゼンで2月1日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文（英語）は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,600人、世界中に46の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なってくる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2010-00010J)